

議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!

vol.7

議員ふじさん歩

今回の取材担当:佐野 智昭



海拔ゼロメートルの出発点 富士登山の新たな魅力 鈴川の富士塚



元吉原地区の鈴川には、静岡県で唯一と言われる富士塚があります。この富士塚は、富士登山の前に身の汚れをはらう場所で、海岸で精進潔斎を行った登拝者が、浜から玉石を持ってきて積み上げ、登山の安全を祈願し、富士山頂を目指したと言われています。

現在の富士塚は、昭和51年に復元されたもので、塚の頂上には浅間宮の祠がまつられています。

今は、海拔ゼロメートルから富士山頂を目指す全長約42キロメートルの新たな登山ルート「富士山登山ルート3776」の出発点にもなっています。

富士登山シーズンは終わりましたが、昨年も多くの方が、この富士塚から山頂を目指し、登頂しました。

11月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧・特別委員会の中間報告等

特集

常任委員会の視察報告

議会広報委員のページ

議会にひと言

動で大切な、再犯を防止する活動を進めるためには、対象者が働く場を持ち、生活基盤をつくっていくことが大きなファクターになります。

富士市では、行政と議会が協働で、全国に先駆けてユニバーサル就労支援事業を行っています。

議会には、これからも全ての市民が明るい明日を迎えられるよう邁進していただくことを期待します。



保護司の活動拠点である富士市更生保護サポートセンター長の遠藤清嗣さん(えんどうきよつぐ)に、議会に対する御意見を伺いました。

(インタビュアー:長谷川祐司)

「安全で安心して暮らせるまちづくり、これを誰もが願って生活しています。そのためいろいろな方面で、多くの人が活動しています。

富士地区保護司会も、社会を明るくする運動を通して各方面の賛同をいただきながら活動を進めています。更正保護活動が活動を進めるためには、対象者が働く場を持ち、生活基盤をつくっていくことが大きなファクターになります。

富士市では、行政と議会が協働で、全国に先駆けてユニバーサル就労支援事業を行っています。

議会には、これからも全ての市民が明るい明日を迎えられるよう邁進していただくことを期待します。

議会 vol.7 ヒストリー

中華人民共和国・嘉興市との友好都市提携



昭和59年10月に嘉興市政府顧問が来富し、本市からの訪問団派遣が求められました。その後、富士市長の嘉興市訪問、嘉興市長の来富に続き、富士市議会調査団の訪問など、相互訪問が重ねられました。

議会は調査団が帰国後、友好都市提携は機を失せずに行うべきとし、昭和63年11月定例会で友好都市提携に関する議案が可決され、平成元年1月に友好都市提携調印式が行われました。

以後、スポーツや芸術の分野、商工会議所などの産業経済の分野など民間を中心に交流が続いており、昨年の30周年記念の訪問時に、現地当局者から「日本企業はこれまで中国の安い生産コストに注目してきましたが、今後は中国市場という点も魅力となると思います。」との言葉があり、関係のさらなる発展が期待されます。(担当:井上保)

次回定例会予告

2月定例会は、2月12日から3月18日まで開催される予定です。令和2年度予算の審議及び市長の施政方針に対する質問等が行われる予定です。

(井出晴美)

編集後記

オリンピックイヤーの幕が開き、東京開催に心躍る方も多いのではないだろうか。2020年初の議会だよりは、昨年11月定例会の議会内容を中心に掲載しました。特集では、平成30年度、令和元年度に本市が受け入れた他市議会の視察状況を紹介します。中でも好評の上位3事業について取り上げました。

本年も議会広報委員一同、力を合わせて頑張りますので、よろしくお願いたします。

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト
富士市議会 検索